

## 福祉サービス等第三者評価結果

## 総合評価

受診施設名	社会福祉法人河守福祉会 八雲保育園	施設 種別	保育所
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会		

令和 5 年 3 月 7 日

総 評	<p>八雲保育園は昭和41年に八雲区立として開設され、現在は社会福祉法人河守福祉会が運営する、周辺を雄大な自然に囲まれた定員70名の保育園です。</p> <p>子ども主体の保育を実践するため、「子ども時間」と称し、子どもが自分のペースで自らの好きな事に没頭出来る環境整備に努めています。特に理念である「センス・オブ・ワンダー ～驚きに目をみはる心」を保育の基本とし、子どもたちが生まれながらに持つ「何かを探求したり、発見したりしたい」という性質を大事に捉え、「科学する心」を大切にしています。登園直後から自発的に遊べる環境づくりや、異年齢児との交流、山登りやいろんな種類の木の実や草花を揃え、それらを使った造形活動や染め物遊び、虫や生き物コーナーといった自然との触れ合いなど、子どもの好奇心を引き出す「ワンダー（驚き）」に富んだ保育環境の整備に努めています。</p> <p>それら様々なコーナーの内容は、子どものリクエストに応じて随時変わります。保育者は、子ども自身のアイデアを大切にしながら、それぞれにねらいを設定し、遊びの中に発達に必要な要素を組み込み、ねらいに対する評価・反省を行い、次の活動がより良くなるよう取り組んでいます。</p> <p>園長、副園長、主任は協同し、これらの保育内容が充実するよう、職員と積極的にコミュニケーションを図っており、方針に沿った保育が園全体で共有され実践できるよう取り組んでいます。</p> <p>周辺の雄大な自然環境と相まって、園舎全体に流れるゆったりとした時間と、子どもたちの好奇心に満ちた声が、園生活に心地よい雰囲気を作り出しています。10年近く積み上げてきた子ども主体の保育が、子どもたちの好奇心や考える心が自然に引き出せる環境に繋がっています。</p>
特に良かった点 (※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に園見学を受け入れており、実際に見て感じて、園の特色や保育方針を理解してもらう機会として有効に活用しています。保護者が納得のいくまで長時間や再訪の希望に応え、丁寧な対応を心掛けています。</li> <li>・園庭や保育室内に、職員が工夫を凝らした保育の環境が整備されています。ホールは、「きのうもきょうもあしたもつづくあそびのへや」と称し、手作りのゲーム、様々な造形遊び、子どもがつくる服屋さん、ファーストフード店、たこやき屋さん、うどん屋さん、音楽演奏、危険生物コーナー、カードづくりなどの様々なコーナーを整備し、朝の会をなくす事で、子どもたちが登園後すぐに自分の好きな環境に行けるようにしています。また、各保育室も絵本や材料、道具が置いてあり、子どもの好奇心を引き出せるよう配慮しています。園庭は、築山やトンネル、雨樋を利用した水を流しての泥んこあそびや、草花を使った染めものあそびなど、子どもたちの「科学する心」が育つよう環境整備に努めています。これらの保育内容については、ねらいを持って取り組んでおり、ねらいに対する評価・反省も実施しています。</li> <li>・子どもが主体的に行動できるよう促しています。給食や午睡等の時間は、「子ども時間」として緩やかに設定されており、子ども自身が食べる、寝るという自己決定が出来るよう促しています。また、異年齢保育を行っており、「きょうだい活動」を通して子ども同士が自然と食事・排泄・睡眠・着脱を、状況把握しながら行動できるよう援助に努めています。</li> </ul>

<p>特に改善が 望まれる点(※)</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・職員に対する自己評価と共に、園全体の自己評価を毎年実施されるとより良いでしょう。</li><li>・人事考課等については明確なものは設けていません。今後は、現状の人員体制や人事管理のベースとなる考え方やルールを整理し、人材育成や人事に関する基準を明確にし、職員に周知するとより良いでしょう。</li></ul>
---------------------------	--

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

# 京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

## 【保育所版】 評価結果対比シート

(注)判断基準「a b c」について

【平成28年度以前の基準とは異なるため、当評価結果との対比はできませんのでご留意下さい】

(a)は質の向上を目指す際の目安となる状態、(b)は多くの施設・事業所の状態、(c)はb以上の取り組みとなることを期待する状態、に改定されました。改訂後の評価基準に基づいた評価では(b)が一般的な取り組み水準となり、従前に比べて(b)の対象範囲が広がります。また、改正前に(a)であった評価項目が改正後の再受診で(a)を得られなくなる可能性もあります。

受診施設名	社会福祉法人河守福祉会 八雲保育園
施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	令和5年3月7日

**I 福祉サービスの基本方針と組織**

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	a

[自由記述欄]

1. 保育の理念、基本方針、目標が明文化されており、園のしおり、ホームページで明示しています。園のしおりをもとに、職員、保護者への周知に努めています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	a
		3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	a

[自由記述欄]

2. 3. 少子高齢化や過疎化が進む地域性もあり、管理者と職員が常に子どもの育ちに対する園として特徴となる保育方針について話し合い保護者に魅力を感じてもらえる保育内容の実践や、バス2台による送迎などのサービスを整備し、安定した運営に繋がるよう努めています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a	a
		5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	a
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	a
		7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a	a

[自由記述欄]

4. 5. 経営と保育の両面から課題や問題点を管理者を中心に職員と話し合い、単年度の計画だけでなく中・長期計画、収支計画を策定しています。  
6. 職員参画のもと策定した事業計画の内容は、理事会評議員会において提起され、役員間でも共有しています。  
7. 事業計画の内容は、保護者にも年間行事予定表と共に知らせています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	a
		9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	b

[自由記述欄]

8. 管理者を中心に、園の保育方針を職員に浸透させる為、毎週の職員会議で、その内容や評価・反省について話し合い、保育内容の質が向上するよう取り組んでいます。  
9. 定期的に第三者評価を受診し、評価結果にもとづき改善に繋がれるよう取り組むと共に、園の方針に沿った項目による個別自己評価チェックシートがあり、保育の方向性が職員間で共有されるよう工夫しています。これらで出た課題については、中・長期計画にも反映し、改善に取り組んでいます。今後は、職員に対する自己評価と共に、園全体の自己評価を毎年実施されるとより良いでしょう。

**II 組織の運営管理**

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-1 管理者の責任とリーダーシップ	II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	a
		11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	a
	II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12	① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a	a
		13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a	a

[自由記述欄]

10. 施設長は、自らの役割と責任を役割分担表にて明確にすると共に「挨拶は自分から」を大切に、職員との日々のコミュニケーションを大事にしています。

11. 遵守すべき法令等について「法令関係資料綴」と共にマニュアルブックを各保育室に整備し、周知に努めています。

12. 13. 過疎化が進む地域にある為、保育の質の向上、他園にはない取り組みの実践が経営に直結しており、常に園児にとって最善の保育環境とは何かを意識し、職員と共に改善、保育実践に努めています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	a
		15	② 総合的な人事管理が行われている。	b	b
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a	a

[自由記述欄]

14. 必要な福祉人材に対する基本的な考え方があり、人員体制は充足しています。

15. 期待する職員像として「八雲保育園倫理綱領」の内容を大切に考えています。ただ、人事考課等については明確なものは設けていません。今後は、現状の人員体制や人事管理のベースとなる考え方やルールを整理し、人材育成や人事に関する基準を明確にし、職員に周知するとより良いでしょう。

16. 管理者は職員の就労状況や意向をこまめに把握するよう努めると共に、職員とのコミュニケーションや職員間の連携が円滑に図られるよう雰囲気づくりに取り組んでいます。それらの取り組みが効果的な事は、職員の勤続年数が長いことから伺えます。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	a
		18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	a
		19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	a
	II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a	a

[自由記述欄]

17. 副園長を中心に、職員会議や園内研修で保育内容を職員間で共有し、園の方針に沿った保育になっているか確認し改善・実践に繋がるよう取り組んでいます。

18. 京都府保育協会の研修計画をもとに、職員の育成に対する基本方針を策定し、研修計画を立てています。

19. 職員一人一人の研修計画を策定し、必要な研修に参加できるよう取り組んでいます。

20. 実習生の受け入れについては、園独自のプログラムや手順を明記したマニュアルを整備していますがコロナ禍でもあり直近では受け入れ実績がありません。

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
					自己評価	第三者評価
Ⅱ-3 運営の透明性の確保	Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	21	①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	a
		22	②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	a
[自由記述欄]						
21. 運営内容や財務内容について、施設経営協のホームページで公表しています。						
22. 経理規定を定め、それに準じて経営・運営を行っています。外部機関（TKC）による定期的な事業、財務に対するチェック及び指導を受け、経営改善に活かしています。						

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
					自己評価	第三者評価
Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献	Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	23	①	子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	a
		24	②	ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	a
	25	①	保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	a	
	Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	26	①	保育所が有する機能を地域に還元している。	a	a
		27	②	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a	a
[自由記述欄]						
23. 25. 26. 27. 八雲区立として開設された園であり、地域の民生委員・児童委員、自治会などをはじめ関係機関・団体との連携を大切にしています。また、地域の行事（ふれあいサンデー、大川神社和太鼓奉納、敬老福祉大会、八雲地区・神崎地区敬老会等）への参加や、講演会等において地域の方に施設を利用してもらったり、園庭開放（土曜日は車送迎可）や民生委員・児童委員と協力して劇の上演を行うなど、地域と在園児との交流を図っています。隣接する園舎別館を「八雲区民センター」として区民に開放し、各種団体の会議や催しで使用しています。小学校とは「まいるカリキュラム」による保幼小連携活動年間カリキュラムに沿って、在園児と小学生の交流事業を毎月実施しています。						
24. ボランティア受け入れマニュアルを整備しています。近年はコロナ禍でもあり、受け入れ実績はありません。						

**Ⅲ 適切な福祉サービスの実施**

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	a
		29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a	a
	Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	a
		31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	a
		32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a	a

[自由記述欄]

28. 園の保育理念に「センス・オブ・ワンダー～驚きの目をみはる心」を掲げ、子どもの生まれ持った何かを探求し、発見したいという気持ち「科学する心」を大切に考え、子どもの気持ちを尊重した保育に取り組んでいます。

30. 積極的に園見学を受け入れており、実際に見て感じて、園の特色や保育方針を理解してもらう機会として有効に活用しています。保護者が納得のいくまで長時間や再訪の希望に応え、丁寧な対応を心掛けています。

32. 在園児の転園に際し、保護者の了解を得て転園先の園に発達経過記録の送付を行っています。また、転園時の保育の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(4) 利用者が意見を述べやすい体制が確保されている。	33	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	a
		34	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a	a
		35	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	a

[自由記述欄]

33. 苦情解決の体制を整備し、保護者にその内容を配布しています。

34. 保護者には「ご意見シート」と称し、相談や意見を記入できるアンケートを年2回全保護者を対象に実施しています。その要望や対応内容は、「Q&A」として保護者にフィードバックしています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	a
		37	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	a
		38	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	a
		39	④ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a	a

[自由記述欄]

36. 管理者を中心にリスクマネジメント会議を開催し、毎月実施する遊具安全点検、ヒヤリハット報告書に基づき検証し、再発防止に向けて職員間で共通認識が持てるよう取り組んでいます。

38. 二度の水害、山崩れ等の災害を経験しており、災害発生時の体制、対策については関係機関との連携を含め整備すると共に、園児の安全確保のための訓練や環境整備に努めています。また、有事に必要な食料や備品を備えています。

39. 不審者侵入時対応マニュアルは整備し、警察等との連携などを含め職員研修も実施しています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-2 福祉サービスの質 の確保	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な 実施方法が確立している。	40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a	a
		41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	a
	Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉 サービス実施計画が策定されてい る。	42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a	a
		43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a	a
	Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に 行われている。	44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	a
		45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	a
[自由記述欄]					
<p>40. 41. 個々の保育場面に応じた標準的な実施方法について、職員会議やケア会議で話し合い、出席出来ない職員に対して会議録にて周知し、職員間で共有出来るよう努めています。</p> <p>42. 43. 全体的な計画に基づき年間指導計画、月間指導計画（月案）を策定し、職員会議やケア会議、保護者からの意見等を踏まえ、計画の評価・反省を実施し次の計画に反映させています。</p> <p>44. 子ども一人一人の発達記録やケア記録は園で統一した書式で記録し、職員間で共有されています。</p> <p>45. 子どもの記録の保管、保存、廃棄等について個人情報保護規定を定めています。</p>					



**A-1 保育内容**

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(1) 全体的な計画の編成	46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を編成している。	a	a
	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	a
		48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	a
		49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	a
		50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	a

[自由記述欄]

47.48. 園庭や保育室内に、職員が工夫を凝らした保育の環境が整備されています。ホールは、「きのうもきょうもあしたもつづくあそびのへや」と称し、手作りのゲーム、様々な造形遊び、子どもがつくる服屋さん、ファーストフード店、たこや屋さん、うどん屋さん、音楽演奏、危険生物コーナー、カードづくりなどの様々なコーナーを整備し、朝の会をなくす事で、子どもたちが登園後すぐに自分の好きな環境に行けるようにしています。また、各保育室も絵本や材料、道具が置いてあり、子どもの好奇心を引き出せるよう配慮しています。園庭は、築山やトンネル、雨樋を利用した水を流しての泥んこあそびや、草花を使った染めものあそびなど、子どもたちの「科学する心」が育つよう環境整備に努めています。これらの保育内容については、ねらいを持って取り組んでおり、ねらいに対する評価・反省も実施しています。

49.50. 子どもが主体的に行動できるよう促しています。給食や午睡等の時間は、「子ども時間」として緩やかに設定されており、子ども自身が食べる、寝るという自己決定が出来るよう促しています。また、異年齢保育を行っており、「きょうだい活動」を通して子ども同士が自然と食事・排泄・睡眠・着脱を、状況把握しながら行動できるよう援助に努めています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	51	⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		52	⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		53	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活でき喜んで遊べる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		55	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		56	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	a

[自由記述欄]

51. 乳児保育（0歳児）において、一人一人の生活リズムを大切に考え、日々の体調や成長に応じた保育を心掛けています。おむつ交換時にはマッサージや言葉掛けを行い、スキンシップを行っています。

52. 3歳未満児（1～2歳児）の保育においては、自我を十分に受け止め、自発的な活動が出来るよう環境を整備しています。

53. 3歳以上児は、「子ども時間」と称し、クラスや年齢の枠を無くし、子どもが自分のペースで遊べる時間を保障しています。それと共に、毎週月曜日の朝には生活習慣や「心」を大切にしたい保育についての話をしたり、生活点検表を作成し、日々の生活についてのルールや礼儀などについて意識できるように取り組んでいます。

54. 障害のある子どもの保育について、関係機関と連携し保護者を含めたカンファレンスを定期的に開催しています。また、異年齢での関わりを大切に、関係機関からの助言や研修等での学びをもとに個別指導計画を策定し、それに基づいた保育実践を行っています。

55. 早朝保育や17:30以降の延長保育利用の園児はほとんどいませんが、長時間、保育園にいる子どもがくつろげるよう環境を整備し、ゆったりとした雰囲気の中で不安になったり寂しくならないよう配慮しています。

56. 小学校との連携については、保幼小連携活動として「まいづるカリキュラム」を行っており、毎月、一緒に遊んだり、野菜の栽培活動など、様々な交流活動を行っています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(3) 健康管理	57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	a
		58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	a
		59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	a
	A-1-(4) 食事	60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	a
		61	② 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a	a

[自由記述欄]

57. 保健年間計画書を作成し、園児の健康管理に努めています。

58. 健康診断・歯科健診の結果は、全職員が把握し、保育に活かすようにしています。

60. 子どもが楽しく食事ができるよう行事食を取り入れると共に、園庭で育てている野菜を収穫・調理し、天気の良い日には戸外で食事をするなど、食に興味を持てるよう取り組んでいます。また、毎食に様々なフルーツを付けたり、冷凍食品や添加物の多いものは使用しないなど、安心できる給食を心掛けています。

## A-2 子育て支援

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	A-2-(1) 家庭との緊密な連携	62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	a
	A-2-(2) 保護者の支援	63	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	a
		64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	a
	A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	a

[自由記述欄]

62. 63. 年2回、クラス懇談・保育参観を実施しています。全園児を対象に連絡ノートを活用し、日々の保護者との情報交換が充実するよう取り組んでいます。

65. 個別の自己評価チェックシートがあり、園の保育方針に沿った項目を設けることで、専門性の向上、保育実践の改善に繋がるよう取り組んでいます。